

2020 年度 授業計画(シラバス)

学 科	理学療法士学科		科 目 区 分	専門基礎分野	授業の方法	講義
科 目 名	骨関節系機能学Ⅰ		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (1) 時間(単位)
対 象 学 年	1年		学期及び曜時限	前期	教室名	301
担 当 教 員	馬庭 春樹	実務経験と その関連資格	理学療法士として急性期病院に勤務経験あり。呼吸認定療法士取得。島根大学医学部において医科学修士を取得。			
《授業科目における学習内容》						
理学療法士は「運動」を扱う。そのため、動きに関係する骨・筋の知識は必須である。また、筋への指令に関する神経系、動きを感じるための感覚系についても熟知しておく必要がある。本科目では特に「骨」について視覚的観察と触覚的観察を中心に学習し、「運動」がどのように行なわれているのかを理解することが目的である。						
《成績評価の方法と基準》						
筆記試験を以て評価する。						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
リハビリテーションビジュアルブック 標準理学療法士・作業療法士 解剖学(第4版)						
《授業外における学習方法》						
教科書等を用いて講義内容の予習・復習をする。						
《履修に当たっての留意点》						
教科書等の忘れ物に注意し、課題の提出期限も厳守すること。						
授業の方法		内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
第1回	講義形式	授業を通じての到達目標	全身の各部の名称を説明することができる。		教科書	教科書等を用いて講義内容の箇所を読んでおく。
		各コマにおける授業予定	全身の区部、身体の名称について			
第2回	講義形式	授業を通じての到達目標	身体の位置について説明する事ができる。		教科書	教科書等を用いて講義内容の箇所を読んでおく。
		各コマにおける授業予定	身体の位置について			
第3回	講義形式	授業を通じての到達目標	身体の方角・断面について説明する事ができる。		教科書	教科書等を用いて講義内容の箇所を読んでおく。
		各コマにおける授業予定	身体の方角、断面について			
第4回	講義形式	授業を通じての到達目標	骨の形態や構造、またその専門用語が説明できるようになる。		教科書	教科書等を用いて講義内容の箇所を読んでおく。
		各コマにおける授業予定	骨の形態、用語、構造について			
第5回	講義	授業を通じての到達目標	骨・関節の機能や構造が説明できる。		教科書	教科書等を用いて講義内容の箇所を読んでおく。

5 回	～ 形 式	各コマに おける 授業予定	骨の機能、関節構造と機能について	教科書	内容の箇所を読んでおく。
--------	-------------	---------------------	------------------	-----	--------------

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
第6回	講義形式	授業を通じての到達目標	上肢の骨について名称が説明できる。	教科書	教科書等を用いて講義内容の箇所を読んでおく。
		各コマにおける授業予定	上肢の骨について		
第7回	講義形式	授業を通じての到達目標	上肢の関節の名称が説明できる。	教科書	教科書等を用いて講義内容の箇所を読んでおく。
		各コマにおける授業予定	上肢の関節について		
第8回	講義形式	授業を通じての到達目標	上肢の靱帯について名称・役割が説明できる。	教科書	教科書等を用いて講義内容の箇所を読んでおく。
		各コマにおける授業予定	上肢の靱帯について		
第9回	講義形式	授業を通じての到達目標	上肢の動きについて名称が説明できる。	教科書	教科書等を用いて講義内容の箇所を読んでおく。
		各コマにおける授業予定	上肢の動きについて		
第10回	講義形式	授業を通じての到達目標	上肢の特徴が説明できる。	教科書	教科書等を用いて講義内容の箇所を読んでおく。
		各コマにおける授業予定	上肢の特徴について		
第11回	講義形式	授業を通じての到達目標	下肢の骨について名称が説明できる。	教科書	教科書等を用いて講義内容の箇所を読んでおく。
		各コマにおける授業予定	下肢の骨について		
第12回	講義形式	授業を通じての到達目標	下肢の関節について名称が説明できる。	教科書	教科書等を用いて講義内容の箇所を読んでおく。
		各コマにおける授業予定	下肢の関節について		
第13回	講義形式	授業を通じての到達目標	下肢の靱帯について名称・役割が説明できる。	教科書	教科書等を用いて講義内容の箇所を読んでおく。
		各コマにおける授業予定	下肢の靱帯について		
第14回	講義形式	授業を通じての到達目標	下肢の動きについて名称が説明できる。	教科書	教科書等を用いて講義内容の箇所を読んでおく。
		各コマにおける授業予定	下肢の動きについて		
第15回	講義形式	授業を通じての到達目標	下肢の特徴について説明できる。	教科書	教科書等を用いて講義内容の箇所を読んでおく。
		各コマにおける授業予定	下肢の特徴について		